

岐阜農林事務所の普及活動状況 令和7年6月30日現在

今月の重点活動

■スマート農業 岐阜地域スマート農業推進会議

6月26日、OKBふれあい会館において、岐阜地域スマート農業推進会議を開催した。同会議は、岐阜農林事務所農業普及課長をリーダーに岐阜地域の市町農政関係課長及びJAぎふ営農部長、岐阜県農業共済組合岐阜支所長で構成されており、管内におけるスマート農業の普及推進を目的に活動を行っている。

会議では、農林事務所から「岐阜県スマート農業推進計画（第2期）」に基づくスマート農業機器の導入状況や、スマート農業技術研修の実施計画、スマート農業技術に関する普及指導員の令和6年度活動実績と令和7年度活動計画等について報告した。また、農業者のスマート農業に対する意向や管内農業におけるスマート農業の推進方向について情報交換を行った。

農林事務所では、スマート農業技術の活用による農業経営の改善・発展に向けて関係者と連携し、今後も継続的な支援を行っている。

(地域支援第二係)



【スマート農業推進会議】

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■就農支援 岐阜地域就農支援協議会担当者会議

岐阜地域就農支援協議会は6月24日、各市町の新規就農担当者を集めた会議を開催した。同協議会は岐阜地域における新規就農者等の育成確保を目的に設立され、会長はJAぎふ営農部長、事務局はJAぎふ営農企画課が務めている。

当日は、事務局から令和6年度活動実績と令和7年度活動計画について報告された。農林事務所からは令和6年度に農林事務所が対応した就農相談実績並びに市町と連携した就農支援会議の開催実績について、市町からは就農支援の現状と課題について説明した。また、ぎふアグリチャレンジ支援センターから県下の就農相談実績等の情報提供の他、出席者による意見交換も行った。

次回担当者会議は11月に開催予定であり、農林事務所は引き続き、就農相談から就農研修、営農定着まで一貫した就農支援が行われるよう、同協議会活動の活性化と各市町で行われる就農相談や就農計画作成を支援していく。

(地域支援第一係)



【担当者会議】

安心して身近な「ぎふの食」づくり

■有機農業 岐阜地域有機農業推進プロジェクトチーム会議

5月29日に管内市町、JA、県等関係者により、岐阜地域有機農業推進プロジェクトチームが開催された。このチームでは、有機農業の生産及び流通、消費の拡大に向けた取り組みを推進するため、関係機関が連携し、有機農業の面的な拡大を目指している。

会議では、各関係機関の取組状況等について情報共有し、営農モデル実証ほである、岐阜市の「有機の里」における秋野菜の取り組みについて確認した。

「有機の里」では、今年度から外部講師を招いた有機農業園芸塾を毎週開催しており、有機農業普及に向けた取り組みを一段と加速している。

農林事務所では、今後、JAぎふと連携して秋野菜を中心とした生育調査や雑草発生調査を実施する。そして、収量や品質等を確認し、野菜作りにおける有機栽培について支援を行っていく。
(地域支援第三係)



【有機園芸塾のナス管理作業】

■GAP JAぎふえだまめ部会GAP巡回調査

JAぎふえだまめ部会（岐阜市：島、則武、鷺山地区）では、6月9日から110戸の農場でGAP巡回調査を実施している。巡回調査は、地区役員その他、JAと農林事務所の職員からなる外部評価員が二人一組となって実施し、今年度はぎふ清流GAPの農場評価項目の中から抜粋した22項目について行っている。

調査初日には、部会長の作業場において、調査のポイントや評価点の付け方等について外部評価員の目合わせを行った。

今年度は、労働安全の観点から新たに熱中症対策の体制整備に関する項目を加え、各生産者へ改善の呼びかけを行っている。昨年度指摘された内容を改善している農場がある一方、改善できていない農場もあるため、継続して指導や改善提案を行っていく必要がある。

農林事務所は今後もJAぎふえだまめ部会、JAぎふと連携し、GAPを通じた農場管理の改善を進めていく。



【農薬保管状況を調査する役員】

(園芸産地支援第一係)

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■にんじん 令和7年冬にんじん栽培講習会

各務原市園芸振興会にんじん部会は、8月から播種が始まる冬にんじんの栽培に向け、6月3日にJAぎふ鵜沼支店において冬にんじん栽培講習会を開催した。

昨年は8、9月の高温の影響で発芽不良や裂根が発生し、減収となったため、農林事務所から高温時の栽培対策について説明するとともに、施肥設計、病虫害防除、連作障害対策について情報提供した。また、にんじん部会の若手生産者で構成されるブランド推進委員が実施した肥料や品種比較等の試験結果について紹介した。

農林事務所では、冬にんじんの安定生産に向け今後も支援を継続していく。

(地域支援第二係)



【冬にんじん栽培講習会】

■ぶどう 作業負担軽減に向けたスマート農機実演会

県スマート農業推進室と岐阜農林事務所では、岐阜市長良ぶどう部会の協力を得て「果樹栽培（ぶどう）におけるスマート農業技術の活用研修」を6月10日に岐阜市長良のぶどう園にて開催し、県内の果樹生産者や関係者合わせて25名ほどが参加した。本研修では、作業負担軽減を目的に、腕上げアシストスーツとロボット草刈機について紹介した。腕上げアシストスーツは実際に試着し、装着による軽減効果の違いを確認した。またロボット草刈機はぶどう園で実演し、草刈機の動き方や性能等を学んだ。

参加者からは、「摘粒作業は腕の負担が大きいですが、アシストスーツを使うと楽になる」、「危険な刈払い作業をしなくても良いのはありがたい」という感想が聞かれた。

農林事務所では、労働力不足や作業負担の軽減等、さまざまな課題を解決するための手段のひとつとして、今後もスマート農機活用を支援していく。



【ぶどう園でのロボット草刈機実演】

(園芸産地支援第二係)